

国際獣疫事務局（OIE※）事務局長が府の家畜防疫対策を視察

6 月 22 日、OIE の Bernard Vallat 事務局長が国際新興・再興豚病学会（会場：京都国際会館）への出席を機に当センターを来訪されました。

事務局長は、当センターの試験研究等の説明を受けた後、高病原性鳥インフルエンザ発生時に備え保管している防疫資材や養鶏施設での防鳥対策、牛受精卵移植施設の視察を行いながら家畜衛生などについて当センター職員と意見交換を行いました。

事務局長は、京都府の優れた家畜衛生の仕組みや優秀な受精卵を譲渡していることに感服され、『Thank you for the very nice discovery and the animal health system in your prefecture. Good lucks』とのメッセージを残されました。

※ 1924 年にフランスのパリで発足した世界の動物衛生の向上を目的とした政府間機関で、2014 年 5 月現在日本を含む 180 の国と地域が加盟

備蓄資材の視察



養鶏施設の防疫対策の視察